



15年度の業績は、14年度に比べると若干改善させることができた。北陸新幹線などの鉄道関係と

中央復建コンサルタンツ

兼塚 卓也 社長

道路の維持・管理業務が

増加したことが要因だ。

13年7月に社長に就任

したが、昨年はじっくり

いろいろなことに取り組

めた年だとも言える。中

でも、当社で初の取り組

みとなる中期経営計画に

ついて、4月のスタート

に向けてしっかりと議論す

ることができた。

中期経営計画は、持続

と成長、そして「人財」

の育成を図ることがキー

ワード。社員の処遇改善

や技術力向上に注力し、

3年間の行動計画により

5年後に業績を2割向上

させ、業界20位まで上が

ることを目指している。

得意分野である鉄道と

維持管理業務を大幅に伸

ばし、その他の業務は現

状を維持したい。特に鉄

道は、北陸新幹線の金沢

〜敦賀間と将来的には大

阪までの延伸を視野に入

れた受注戦略を展開した

いと考えている。

関西の公共事業は減少

傾向にあるが、以前に増

員した東京の人員は維持

しつつ関西に軸足を置い

た経営を進めていく。

競争に勝つていくため

は、業務成績の評定点を

上げて優良表彰数を増加

させることに加え、生産

性を高めることが重要

だ。協力会社の零細化と

人材は、毎年10人程度

の新卒採用に加え、手薄

な30代の中途採用を積極

的に行いたい。雇用形態

の改善を含めて技術者不

足に対応していく。

地方創生をキーワード

とした新たなまちづくり

や、ビッグデータの活用

のノウハウ提供、小型

無人機（ドローン）や3

Dを駆使したICT測量

などにも注力したい。

初の中期経営計画をスタート

取り組む。